

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

放射線+5FU+CDDP療法 <<初日に4日分調製>>

1 コース予定

疾患名 食道癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

			day1	day2	day3	day4
フルオロウラシル	持続	2800 mg/m ² /4日 【700 mg/m ² /日】	↓ →		
シスプラチン		70 mg/m ²	↓			
			day29	day30	day31	day32
フルオロウラシル	持続	2800 mg/m ² /4日 【700 mg/m ² /日】	↓ →		
シスプラチン		70 mg/m ²	↓			

- 【注意】
- * シスプラチンは遮光のこと
 - * シスプラチンはポンプを使用しないこと。
 - * 一日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法前日より輸液を行う。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1, 29 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1Cを内服

① 生食 500 mLにて血管確保・維持(20 mL/時間)

② 生食 500 mL 点滴静注 120分 (250 mL/時間)

day 1 - day 6 フルオロウラシル + 生食 850 mL

輸液ポンプにて点滴静注 約96時間(10 mL/時間)

} 同時滴下

放射線+5FU+CDDP療法<<初日に4日分調製>>

- ③ 生食500 mL + L-アスパラギン酸K10 mEq + 硫酸Mg補正液4 mEq
点滴静注 120分(250 mL/時間)
- ④ パロノセトロン0.75 mg + デキサメタゾン9.9 mg + 生食20 mL 側管静注
- ⑤ シスプラチン + 生食300 mL 点滴静注 120分(250 mL/時間)
- *生食200 mLをバッグから前もって抜いておく
- ⑥ フロセミド20 mg ▪ 側管静注
- ⑦ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注 120分(250 mL/時間)
- ⑧ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)
- ⑨ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑩ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑪ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2 - 4, 30 - 32

- ① デキサメタゾン6.6 mg (2 mL) + 生食20 mL 側管静注
- ② ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ③ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ④ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑤ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2, 3, 30, 31 アプレピタントカプセル (80 mg) 1C 1×朝 内服

day 2 - 4, 30 - 32 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

放射線+5FU+CDDP療法<<初日に4日分調製>>

	コース			
	day 1	day 2	day 3	day 4
投与日	/	/	/	/
5FU 開始時刻	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓			
確認				
	day 29	day 30	day 31	day 32
投与日	/	/	/	/
5FU 開始時刻	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓			
確認				